

令和3年9月6日、女性初の検事長として広島高等検察庁検事長に就任した欽本直美氏に、広島県保護司会連合会 八崎則男会長と、広島県更生保護女性連盟 幟建末子会長がごあいさつにお伺いしました。

第71回
“社会を明るくする運動”
ぬりえで
ホゴちゃん・サラちゃん



ご応募作品の一部を紹介します。

たくさんのご応募ありがとうございました。

あなたの自慢のペットを更生保護ひろしまの表紙写真に!

ペットの写真大募集!

●ご応募の方法

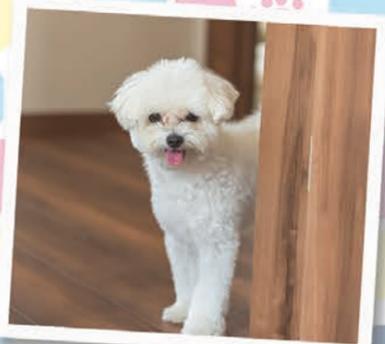
ご自慢のペットのお写真を下記までご送付ください。応募に当たっては、

- ①ご住所 ②お名前 ③ペットのお名前
- ④ペットの性別と種類 ⑤写真についてのコメント
- (例) ③マロン ④雄・トイプードル
- ⑤帰宅すると玄関でいつも出迎えてくれます。

を必ず記入したメモを同封の上、ご応募ください。
(※応募いただいた写真等は、お返しすることはできません。
なお、ご住所は本誌に掲載いたしません。)

●送付先/問合せ先

〒730-0012 広島市中区上八丁堀2-31
広島法務総合庁舎3F
広島県保護司会連合会事務局 行
電話:082-221-4496



広島保護観察所
勤務時間外における緊急連絡先

夜間・休日等に事件関係等で緊急に連絡を取りたい場合は下記に御連絡願います。

- ・保護観察事件等 090-8990-3261
- ・保護司関係 090-2861-7175

更生保護 ひろしま 第778号

昭和27年8月創刊 毎月1回1日発行 定価35円

編集 「更生保護ひろしま」編集委員会
発行 広島市中区上八丁堀2-31
広島県保護司会連合会
TEL 082-221-4496

(第三種郵便物認可)
昭和33年3月30日
毎月1日発行

料金後納
郵便

更生保護
ひろしま



第778号

令和3年
10月1日発行

目次

- 令和3年 春の叙勲・褒章 受章者のみなさま 2
- 更生保護と呉清明園への想い(更生保護法人呉清明園 常務理事 岡本忠勝氏) 4
- 保護司専用ホームページのご案内 6
- 動物おもしろ百科 海のライオン「シャチ」(月原廣政氏) 7
- 欽本検事長にごあいさつ、ペットの写真募集 8

撮影/編集委員長 吉川水貴
場所/おりづるタワーから臨む
原爆ドーム(広島市中区)

令和3年

春の叙勲・褒章 受章者のみなさま

叙勲 瑞宝双光章



天地 眞隆様
(福山保護区)

尊い賞を賜りました。残された人生を「この賞に恥じぬよう歩め」と受け留めさせていただきます。社会福祉（福祉＝幸せ）の拡充は世の人々の願いであり、保護司活動はその大きな礎のひとつと思います。若い人たちも保護司として活躍できる法の整備を願っています。



新江 政文様
(南保護区)

このたび令和3年春の叙勲で瑞宝双光章の栄に浴し身に余る光栄と感謝しています。長年続けてきて島（似島）での良さ、また難しさがありました。素直に立ち直って生き生きとしている姿を拝見できたときは本当に嬉しい気持ちになりました。保護司を続けてきて本当に良かったと思っています。



武田ひろみ 様
(呉保護区)

この度は、はからずも受章の栄に浴し、身に余る光栄と深く感銘いたしております。今後はこの栄誉に恥じぬ様一層精進しご恩返し出来るよう努力して参ります。

褒章 藍綬褒章



谷本 弘之様
(安佐南保護区)

この度、褒章の栄に浴し感激して居ます。この受章は、ひとえに御支援くださった保護観察所並びに保護司会関係者のお陰と深く感謝しています。保護司の在任期間も僅かですが、この栄に恥じない様、今後も更生保護活動に尽力したいと思います。



三原 令子様
(福山保護区)

この度の受章に際しましては、多くの方のご指導ご支援をいただき、心から感謝いたします。保護司として二十数年、人と出会い学びました。少年の重い人生に接したり、地域の人たちとの交流、アジアの国の保護司さんとのふれあい学び、大変有意義な時を過ごしました。今後も少しでもお役に立てればと思っております。

おめでとうございます。

皆様のリーダーシップと更生保護への多大なる足跡は私たち保護司の誇りです。今後のご活躍をご祈念申し上げます。この度は、誠におめでとうございます。

広島県保護司会連合会会長 八崎 則男



更生保護と 呉清明園への想い

更生保護法人 呉清明園
常務理事 岡本 忠勝



私が初めて「更生保護」という言葉を知ったのは、呉清明園を通してでした。

中国郵政局勤務を経て、父（勝次）の後を継いで呉本通七郵便局長となり、ようやく落ち着いた頃です。父が私に「呉清明園の賛助会に入ってくれないか」と頼むのです。年2回ほど会議に出て、話を聞いていればいいと言われて入会したのが、全ての始まりでした。

もともと呉清明園は昭和25年、刑余者の救済保護を目的として、当時の呉地区保護司会の武田信夫会長（吉浦造船社長）が私財を投じ、同志ら数人で設立されました。当初はトタン屋根の作業場があり、作業員たちはセメントブロックを造っては川沿いに並べ、天日乾燥していました。

その後、どうしても宿泊受け入れが必要になったため、作業場を閉じ、そのスペースに木造2階建ての施設を建てました。会議室などが必要になり、継ぎ足して増設したこともありました。また、職員を海上自衛隊の退職者に頼っていたら経理の分かる者がいなくなり、父は経理を教えるために常務理事と主幹（現在の施設長）を2年間ほど兼ねていました。その後、父は2代目の理事長に就任します。

さて、私が園の評議員を経て理事、常務理事になった頃です。当時の施設長から「岡本さん、郵便局長の定年は何歳ですか？定年後の何年か、呉清明園の施設長をやってみませんか」と誘われました。

生前の父が「中国地方や全国の施設連盟の会議に出席しても、施設長をやったことのない理事長の意見は、どうも上滑りしてしまう」とこぼしていたことを思い出し、園の中を経験する好機だと考え、お引き受けしようと決断しました。

当時、私は保護司任命から18年。呉地区保護司会の副会長、広島県保護司会連合会の選任理事を務めていました。暴走族、薬物、窃盗…と、いろいろな人を見て来たので、園生の対応にはそれほど困ることはありませんでした。それでも集団生活となると、いろいろなことがありました。

中でも一番に思い出すのは、家で夕食を取ろうとしていた日の出来事です。家の電話が鳴って「施設長、大変です。すぐ来てください」。駆け付けると園の玄関前の狭い道には、パトカー、覆面パト、そして救急車の計6台が集まり、異様な雰囲気でした。

玄関ロビーは血の海になっていました。自称「関東ヤクザのなれの果て」が何を思ったか、居室のドアのガラスを素手で割り、タオルを巻いても出血が止まらないのです。すぐ救急車で国立呉病院へ行き、何針か縫ってもらいました。すると警察が「どうしても調書を取るのだから今夜じゅうに連れて来てほしい」。調書が終わったのが午前2時すぎ。本人はそのまま留置されました。

でも、園が開くのは午前4時すぎです。家に帰るのも中途半端なので、呉共済病院の救急外来の椅子を拝借して仮眠しました。

もう一人、忘れられない園生がいます。大手造船所の下請け仕事に就くと決まったのに「先生、就職やめます。自分で探します」と言い、実際に障害者施設の職員の仕事を見つけてきたのです。話を聞くと「下請けでは日当の上前をはねられるし、いつまでたっても自立できそうにない。自分の妹は障害者で、小さい時は泣かされてばかり。どうせ出直すのなら、誰かの役に立ちたい」と訴えます。その施設は「泊まりでもいいのなら、すぐ来てくれ。うちで介護資格は取らせてやる」とのことだったようです。

職場体験からいったん帰って来たので「どうだった？勤まりそうか」と尋ねました。すると「先生、驚いたよ。動くのは口と目だけの人を介護するのだ。」その園生はやがて介護士の資格を取って退園して行きました。勉強して、もっと上の資格を取るんだと張り切っていました。

呉の街を歩くと、いまだに「先生」と声を掛けてくれる何人かがいます。

平成14年の全面改築の時は設計部長という肩書をもらい、図面は最初から見ていたのです。ただ、実際に使ってみると不便な所が目立ちます。私が施設長になって直した箇所がいくつかあります。

事務室のマットを張り替え、床にパソコンのコードを埋め込みました。玄関正面テラスに屋根を付けました。2階と3階の園生の居室の窓（住民側）を風が抜けるように、一般的な開閉窓に取り換えました。

このほか、ダブルの紺ブレザーで職員の制服を作りました。急に保護観察所などへ行く用事がある時など、すぐに羽織れるように考えたのです。

また、刑務所を出る半年前から「出所後は呉清明園に入りたい」と希望する文書が届くことがあります。そういう時は職員と分担して刑務所へ面談に行きます。私も仙台、金沢、京都、鳥取、松江、島根あさひ、広島、尾道、松山、長崎、佐世保などを回りました。今にして思えば、これも大変貴重な経験でした。

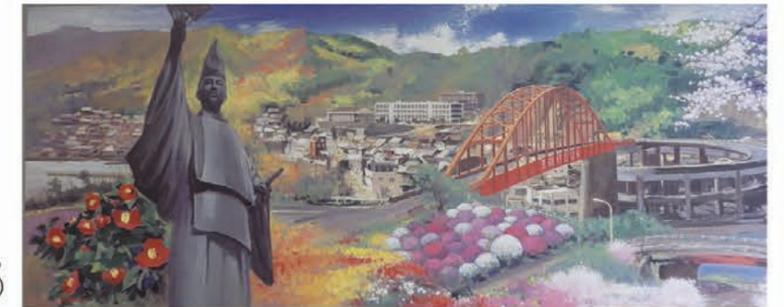
そうこうして施設長を務めた足かけ3年弱の間、月原廣政先生（私の次の施設長）、新庄一夫先生（現施設長）をはじめ、多くの方に支えられてきました。また、更生保護、とりわけ施設の仕事は、地元保護司会、更生保護女性会、そして地域の人々の協力なしでは到底、運営していけません。いくら感謝しても感謝しきれないほどです。

建て替えから19年。だんだんと配管などの修理も必要になっています。時の流れは速いと痛感するばかりですが、だからこそ、先人たちの想いを次の時代へと引き継いでいかなければなりません。

園の1階ロビーに、音戸の瀬戸を開いた平清盛日招き像の陶板画があります。その日招き像が立つ呉市内の音戸の瀬戸公園には、清盛ゆかりの地を取材して「新平家物語」を著した吉川英治の文学碑も立っています。

「君よ 今昔の感 如何」
今の私は、この碑に刻まれた
想いでいっぱいなのです。

呉清明園1階ロビーにある陶板画。
「瀬戸日和」（北田和廣画伯）



岡本忠勝氏 プロフィール

昭和16年	呉市宮原通りで生まれる。	昭和56年 4月	呉清明園賛助会入会
昭和41年 2月	広島郵便局勤務	平成 2年10月	保護司を委嘱
昭和55年 3月	特定郵便局長に任命、 呉本通七郵便局長に任命	平成22年 4月	更生保護法人 呉清明園 施設長
		平成26年 5月	呉地区保護司会 会長
		平成26年 5月	広島県保護司会連合会 常任理事
平成 9年 4月	中国地方特定郵便局長会評議員	平成30年11月	保護司退任

保護司専用ホームページのご案内

保護司活動の一部をウェブ上で行うことを目的とした「保護司専用ホームページ」については、令和3年度中に、**3つの機能**が、以下のスケジュールで利用可能になる予定です。

準備：アカウントの作成

(内容) 保護司専用ホームページを使うためのアカウントを作成します。



機能①：研さん資料の閲覧 (利用開始：令和3年8月31日)

(内容)
これまでに作成された様々な処遇参考資料や動画が閲覧できます。また、保護観察所が行う定例研修等の資料等も順次閲覧できるようにします。

機能②：報告書の作成・提出 (利用可能予定日：令和3年10月末頃)

(内容)
保護観察経過報告書(甲)、短期保護観察経過報告書、事故報告書、生活環境調整報告書、生活環境調整追報告書、生活環境調整面接状況報告書の作成及び提出ができます。

機能③：メッセージのやりとり (利用可能予定日：令和3年12月末頃)

(内容)
他の保護司、管内の保護司組織及び所属する保護観察所とメッセージのやりとりができます。

保護司専用ホームページは、パソコン、スマートフォン、タブレットなどインターネットにつながる機器ならどんな機器でもお使いになることができますが、外部に情報が漏れない仕組みとしております。

同ホームページの活用を決して強制するものではなく、今後も従来どおり紙での報告書の作成・提出をしていただいて構いません。保護司の皆様におかれましては、あまり構えることなく、ご自身のペースで、アカウントの作成及び同ホームページをお試しいただければ幸いです。

同ホームページを使用するには、アカウント作成のため、事前に広島保護観察所に個人のメールアドレスを報告する必要があります。アカウント作成を希望される場合は、メールの本文に「地区名及び氏名」、標題に「登録用メールアドレス」と記入した上、登録を希望するメールアドレスから広島保護観察所代表メールアドレス(hiroshima-hogo-common@i.moj.go.jp)宛てに、メールを送信願います。

なお、迷惑メール対策をされている場合は、@mail-hogoshihp.moj.go.jpのドメイン名を受信できるように設定していただく必要がございますのでご注意ください。



QRコードからも
メールを送ることができます。

自衛官として南極観測支援参加 月原さんの動物おもしろ百科



海のライオン 「シャチ」 について

「シャチ」は人間に危害を加えないと報じられていますが、過去に水族館で飼育されていた「シャチ」がステージ上にいた飼育員を水中に引きずり込み溺死させた事例があります。また、南極観測支援で、南極海を行動中、深夜午前二時頃(南極は白夜で明るい時です。)一人で海を眺めていると、絨毯のような海に小さな波が立っており、不思議な状況と見ていると、波は少しずつ、大きくなり、ザアアと波音とともに巨大な「シャチ」が隊員の目前でスパイホッピング(頭部を海面に出し、辺りを見渡すためと言われる行動)の後、直ぐにブリーチング(海面へ自らの体を打ちつけるジャンプ)を行いました、その光景は今でもまぶたにあり、「シャチ」が海中に潜水後、越冬隊員に状況報告、越冬隊員は、「シャチ」が正面に向かってジャンプしたことは何かを訴えているのかと言われたことが鮮明に蘇ります。

その光景を読者の皆様にお伝えしたく、下手な絵を画きましたのでご一読賜れば幸いです。



月原廣政氏 プロフィール

更生保護
ひろしま編集委員
呉地区保護司
(広島県呉市川尻町出身)

昭和43年 海上自衛隊入隊
護衛艦たかつき乗艦(機関科)
第2術科学校入校(機関科普通科)
昭和49年 砕氷艦ふじ乗艦(機関ディーゼル員)
(第16次・第17次南極観測支援参加)
平成5年 砕氷艦しらせ乗艦(機関士)
(第35次・第36次南極観測支援参加)
平成14年 海上自衛隊退職



南極海にて突然現れた巨大なシャチ 画/月原廣政